

芸能発表・展示・収穫祭に集う



一之宮に伝わる民話「稲くい神馬」を題材にしたミュージカル風寸劇が会場を盛り上げました

中学生も加わり文化祭盛況

一之宮まち協だより

第43号

平成29年12月1日

一之宮町
まちづくり協議会
広報部

高山市一之宮町3087
電話 53-2424

多彩な芸能発表 裏方との息もあつて

一之宮町文化祭が11月3日の芸能発表と収穫祭を皮切りに、4日、5日の展示まで3日間にかけて開催され、多くの人が訪れて楽しみました。まち協が主催して文化祭実行委員が企画運営する文化祭は、宮中学校生徒会が実行委員に加わって全校で取り組む方式も3年目を迎え、まち協と中学生との連携もスムーズにいき、中学生による運営も板に付いてきました。



多人数でいっぱい休憩テント

グラムが組まれました。進行では、中学生を含めた司会者グループが、演目ごとに感想を述べたり、クイズ、ゲームなどを挟んだり、会場と一体となって進めました。

中学生の発表では吹奏楽のほかに学年ごとに合唱が行われ、特に芸能発表最後の全員合唱は力強いハーモニーが会場全体を包んで最後を飾りました。

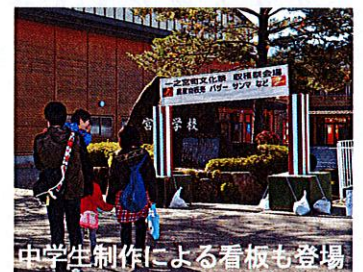
裏方の舞台設営、照明、音響の連携もよく、中学生のスタッフもバツクで盛り上げました。

収穫祭会場大賑わい 新コーナーも人気

公民館裏に設営された収穫祭会場では、4つのテントで地元農産物やだんごやミカン、飛騨牛まんなどの



恒例の炭焼きサンマには行列ができました



中学生制作による看板も登場

販売が行われました。昨年が続いて豚汁やご飯、女川直送の炭火焼きによるサンマ600匹のサービスも行われ、多くの人が訪れ飲食用テントが賑わっていました。

位山文化交流館での作品展示には、昨年同様宮保育園年長児の絵や宮小児童の絵や習字、学習作品、宮中生徒のポスターや研究作品などが展示され、多くの人が足を運びました。

展示会場の一角にはクラフトコーナーを設け、ストラップや折り紙づくりが子ども達に人気でした。

公民館では恒例の「飛騨わり会」による健康展や「あけぼの会」によるお茶席も設けられたほか、新しい試みとして、若者層によるまち協グループ「アクティブプロジェクト」によるインスタスポットが設けられ、親子連れなどが写真に納まっています。



保小中の展示コーナーも人気
奥はクラブコーナー

一筆

気まきにエッセー



その後、子の亀五郎が家督を継いだが、父の残した使途不明の莫大な借金1万両(老中田沼意次への

日本画通信教育の課題として大原騒動の顛末を調査した。転入者他未知の方もおり、あらためて概略について述べてみたい。

大原騒動は江戸時代18年間に亘る明和・安永・天明の3度の大きな飛騨農民一揆の総称である。約束を反古にした増税、農民に返すべき多額の公金横領を端緒にしている。

明和騒動に始まり、最大の安永騒動では水無神社に農民1万人が集結するが、幕命により大垣、郡上からの部隊に鎮圧され、宮司2名、農民指導者多数が万人橋河原で打ち首等騒動の都度極刑に処された。人も草木も飛騨中が慟哭したという。この中の一人18歳本郷村善九郎の幼い妻を氣遣う遺書が胸を打つ。

安永騒動後大原代官は郡代に昇格、意気揚々と飛騨に帰った翌朝、奥方が自害、その翌年には本人が重い眼病を患う。不吉な予感があったのか、水無神社を再建し飛騨郷の神社に祈禱させるも、ついに失明する。

この時寄進された大原灯籠は今も水無神社境内に立つ。さらに郡代は得体の知れない熱病に取りつかれ、安永8年死亡、多数の農民を処刑して5年後のことであった。

大原騒動について

岡安 俊明 さん(奥)

賭博との説も)を抱え、翌年から天明大飢饉、更に高山大火が起これり、郡代側についた豪商や町方2300戸残らず、焼失したといわれる。

こうして終幕の天明騒動を迎える。江戸や尾張ほか、計画的に直訴が敢行され、遂に江戸から探索が入り、郡代ほか悪徳役人・商人が断罪される。田沼失脚後のことであった。一方、またしても複数農民が処刑され、増税撤回や公金返還の切なる願いは結局届かず。

不思議なことに新郡代が着任、まだ騒動たる中、高山祭屋台は今までになく豪華に華やかになる。農民の力に対する畏怖や犠牲者への鎮魂か。両面宿難から続く反骨精神と立ち替わり現れる指導者の優れた識見、命を賭す覚悟、そうした精神を是非継承してほしい。



水無神社に立つ「大原灯籠」

話題のさんぽ路

アクティブプロジェクト発進

まずは、文化祭に出展

水口 誠 さん(野添)

アクティブプロジェクト最初の取り組みとして、文化祭にインスタスポットを出展させて頂きました。

この「アクティブプロジェクト」とは、今年の春より一之宮に住む30〜40歳代の8名とまち協役員の方々との一之宮町に対しての思いを話し合うプロジェクトとしてスタートしたものです。まちづくり協議会への思いや、一之宮町がこんな町になったら...等、春から月に1回程度の意見交換会を行ってきました。

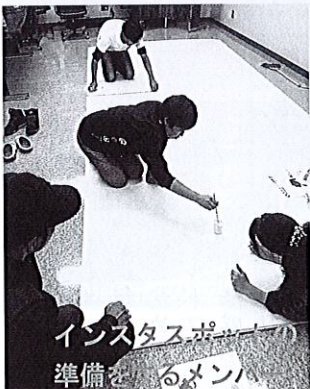
文化祭が近づき、若者が足を運ばないのはなぜか? 昨年より変わった文化祭はどうなのか?などを話し合うなかで、このアクティブメンバーも文化祭の内容をあまり知らないという話にもなりました。

そこで、まずは知ることから始めようという話の流れから、とにかく参加してみようということになり、文化祭までの3週間で何が出来るか話し合いました。メンバーの提案の中から、今若者に人気のあるインスタスポットを作ってみようという事になりました。文化祭まで3週間しかなく、準備が間に合うのか不安がありました。メンバー全員で協力し合いながら制作し、当日の出展に間に合わせることが出来ました。

今回が初めての取り組みとなりましたが、今までのことであったかという事も大切にしつつ、新しいことに挑戦してみる事がプロジェクトとしての大切な形ではないかと、この活動を通して実感しました。

出展にあたり、

まちづくり協議会、一之宮支所、文化祭関係者の方々には心強いバックアップをして頂き、ありがとうございました。



インスタスポットの準備をするメンバー

頑

張

っ

て

ま

す

地元で頑張っている若い人にスポットをあてて紹介

下本 大吾 さん(33) 《山下上》

●お仕事は? 農業(トマト)

●趣味は? 子どもとのキャッチボール

スノーボード・スケボー

●地元の好きなどころは? 人とのつながり

マイペースに生活できるころ

●これからやってみたいことは? 特にないけれど、今やっていること、力を入れていることを続けていきたい。

●宮にひと言! 昔から変わらない事、変わってきた事、たくさんあると思いますが、人との繋がりが伝統、自然豊かなところなど良い部分はこの先もずっと変わらないままであってほしい。



河合スキー場でのボード

一之宮短歌会作品より

位ヶ峰果ては赤く夕焼けて晴れたる晩秋の一日暮
れゆく 三本藤次郎

校庭の静もりのなか容赦なく銀杏の紅葉あまた散
り敷く 三本藤次郎

年々に親しき友や身の内の去りて電話の少な
なりぬ 永田和子

嫁の実家へ孫等出かけしその後肉の少なき野菜
カレー煮込む 永田和子

日本一安い地価の焼岳の地元は深いきずな
夕日落ち月のうす明かり凜としてたつ霊峰位山
森本浩資

図書館案内



今年一年、一之宮分館をご利用いただきありがとうございました。

年内は12月28日(木)まで、新年は1月4日(木)より開館します。

年末のお掃除に関する本や編み物の特集コーナーもございます。

寒い毎日が続きますが、ぜひ図書館をご利用ください。

<今月の特集>

★笑って年越し

年末のあわただしい中、ほっとできるような落語のCDや楽しい読み物を集めます。

★クリスマスのおはなし

クリスマスに親子で読みたい絵本を集めました。

●冬休み期間(12月27日~1月10日)は、スタッフの滞在時間が午前10時~午後5時までになります。

●「煥章館」蔵書点検による休館のお知らせ

高山市図書館「煥章館」は12月3日(日)~9日(土)まで蔵書点検のため休館します。

12~1月行事予定

12月

- 3日(日) 火の元点検・秋季訓練
- 9日(土) サタディサークル
- 20日(水) 町内会長会
- 23日(土) モンデウススキー場オープン
- 26日(火) 小中学校終業式
- 29日~1月3日 公的施設、まち協業務休業

1月

- 2日(火) 新成人を祝うつどい
- 5日(金) 出初式
- 11日(木) 小中学校始業式
- 13日(土) サタディサークル
- 23日(火) 町内会長会

ぼくのなまえ☆わたしのなまえ

かえ
花 瑛 ちゃん 平成26年9月12日生まれ

お父さん: 溝端 龍治さん 《南》
お母さん: 溝端 華子さん 《南》

『花瑛』という名前には誰からも愛される子に育つように、個性豊かな子になるように、まっすぐな心で育つように。という願いが込められています。おしゃべりすること大好き、おしゃべり大好き!最近は大人のすること言うことを真似して私たちを楽しませてくれます。

8月には弟が誕生し、世話をやいて



くれたり可愛がってくれるいいお姉ちゃんです。これから弟と共に元気いっぱい笑顔いっぱい育ててくれますように★!

お知らせ

■高山市図書館一之宮分館「おはなし会スペシャル」のご案内

「お話玉手箱」さんによる楽しいクリスマスのおはなし会です。

◇日時: 12月2日(土)
10時30分
~11時30分

◇会場: 一之宮公民館 和室

◇内容: 絵本の読み聞かせ・劇・簡単な工作など

※入場無料・申込不要です



■新一年生対象「スキー教室」のご案内

今年度も平成30年度の新1年生(現年長)を対象にスキー教室を開催予定です。

スキー学校の先生に基本から教えていただけるチャンスです!

会場はモンデウススキー場です。

日程等の詳細は決まり次第ホームページ等でお知らせします。



■火の元点検のご案内

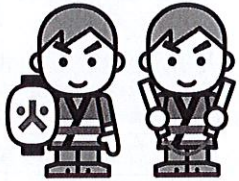
消防団員等が各家庭を訪問し、消火器

等の安全点検を行います。

◇日時: 12月3日(日) 前8時30分~

※この日は午後1時より消防団秋季訓練も予定されております。

【問合せ先】一之宮支所地域振興課 53-2211



■水道メーター検針のご協力について

冬期の水道メーター検針について、次の通りご協力をお願いします。

・積雪時には、水道メーターの周りの除雪にご協力ください。

・雪等で埋もれてしまう場合は、目印になるものを立ててください。

【問合せ先】一之宮支所基盤産業課 53-2211

■「新成人を祝うつどい」のご案内

今年度新成人になられた方を対象に「新成人を祝うつどい」を開催します。

◇日時: 平成30年1月2日(火) 午後1時30分式典開始

◇会場: 一之宮公民館 ホール

年齢	男性	女性	合計	前年増減
0~14歳	173	155	328	-9
15~64歳	676	693	1,369	-24
65歳以上	339	482	821	+1
合計	1,188	1,330	2,518	-32
世帯数	821戸			+3

平成29年11月1日現在

一之宮町の人口情勢(人)

髭爺

ちよつぷり賢治風に詩ってみました。最後にりましたが、皆様にとって新しい年が、良い年でありますようにお祈り申し上げます。

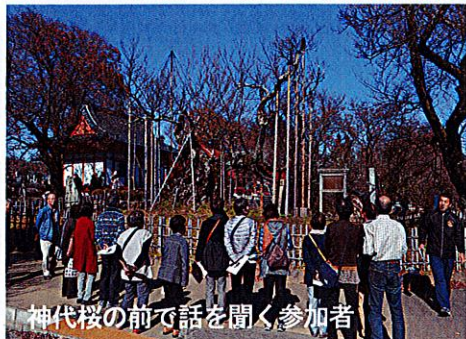
『体や頭の衰えにも負けず、地域の皆の幸せを考え、まちづくりを意欲を持ち、自然の移り変りを愛で、夕には一献傾けて暮す、そんな人間に私はなりたい。』

つづき...
遠い山々の頂きは、すでに白い帽子を被り、里にも初冬の佇まいが感じられる頃になりました。もう一年の最終月「師走」です。人生の旅路の折り返し点を過ぎて久しい我が身としては、一年の過ぎる時間が早く感じ、本紙の今年一月号のこのコーナーで、年頭のご挨拶を申し上げたのが、つい最近のことのように思えます。その時の文章を読み返すと、自分自身の希望と現実の乖離を禁じ得ません。

文教研修、今年も神代桜と諏訪大社上社

まち協文化教養部主催恒例の研修旅行が11月12日に行われ、応募した26人が、山梨県北杜市の樹齢二千年を超えると言われる「神代桜」や長野県諏訪市に鎮座している「諏訪大社上社」などを訪れました。

「神代桜」では、長年桜を守っている地元の関係者から桜が弱って樹勢を回復させる苦労話などを聞き、参加した「一之宮桜を守る会」の会員らは臥龍桜が幾度かの試験を乗り越えてきた歴史に思いが重なったようでした。信濃国の一之宮「諏訪大社」の4社のうちの1つ「諏訪大社上社」では正式参拝を行い、参加者全員で一之宮町の発展と住民の健康を祈願してきました。



参加者神代桜の前で話を聞く

途中、北杜市にあるサントリー白州ウイスキー蒸留所にも立ち寄り、場内施設の見学やウイスキーの試飲などで楽しみました。(伊藤)

公共施設ワークショップで意見交換

これからの公共施設のあり方についてみんなで考えようという公共施設に関するワークショップが、11月14日に市が主催して一之宮公民館で行われました。

このワークショップには45人



出席者意見交換するワークショップ

と、これまで開催してきた市内12会場で最多の住民の参加があり、今後の公共施設のあり方についての一之宮住民の意識の高さをうかがわれました。

最初に、市行政経営課から公共施設等総合管理計画の基本方針と公共施設の現状と今後の考え方について説明がありました。

続いて7〜8人のグループに分かれてワークショップが開かれ、参加者は自分の考えを用紙に記入し、それを共通項に分類しながら意見を交換しました。

参加者からは、身近な施設について住民同士が意見を語り認識を共有できたのはよかった、今後もこういった機会があるといい、などの声が聞かれました。

野添幸夫さんら受章

小さな親切運動実行で

小さな親切運動岐阜県本部の飛騨地区実行章贈呈式が11月7日に高山グリーンホテルで開かれ、一之宮町から野添幸夫さんと一之宮区長寿会、琴伝流大正琴飛騨「水無会」が受章しました。

野添さんは長年の牧場経営で経験した命にかかわる感動を元に紙芝居を自作し、地域の子ども達などに語っている活動が、長寿会は草刈りボランティアなど地域の清掃活動に長年取り組んでいる活動が、また水無会は長年に渡る病院等施設への大正琴演奏慰問活動が評価されました。



受章の贈呈を受ける岩西市長

美しいふるさと認証

「バイカモを守る会」に

常泉寺川およびその周辺でバイカモの生育を保全する活動を行っている一之宮バイカモを守る会が11月1日、高山市から「美しいふるさと認証」を受けました。

「美しいふるさと認証」は、ふるさととの美しい景観の保全や伝統文化・文化財の保存活用などを目的とする団体や個人の活動を高山市が認証する

今子ども達の現状は？ PTAが講演会

宮小中学校PTA合同講演会が11月7日に一之宮公民館ホールで開かれ、保護者や先生のほか地域の方々など約90名が参加しました。

今回は、一之宮町まちづくり協議会が後援して、講師に飛騨子ども相談センターの児童福祉士の谷倉祐二氏と学校心理士の加藤豊弘氏を招いて、今子どもたちの置かれている現状について話をいただきました。

谷倉先生には、飛騨地方でも「子どもの貧困」が進んでいる現状について、加藤先生には、飛騨市の肝煎りで専門のクリニックが同市に開設されるなど今話題になっている「発達障害」を中心に話を聞きました。

加藤先生は宮小中学校の学校長として赴任していた当時の懐か



長川会長を受ける認証章

消防ポンプ車を更新

第2分団第2班配備

高山市より消防団一之宮支部に消防ポンプ車1台が受け渡され、第2分団第2班(山下班)に更新配備されました。

11月5日には、第2班の消防団員14名が、高山消防署の職員より操作方法などの説明を熱心に受けていました。

地域防災の要として、有事には十分活動出来るように期待します。(伊藤)



団員を受ける消防車の新しい

認知症デイを体験

福祉部が八光苑と講座

認知症講座が11月17日に一之宮公民館で開かれました。この講座はまち協福祉部がデイサービスセンター八光苑と共催してここ数年毎年行っており、27人が出席しました。

今年はいササービスで行われている認知症デイのプログラムを実際に体験してみようと、テレビモニターに映った講師を相手に、手を使ったゲームなどを行いました。

この後、認知症への適切な対応や心がまえについて、カレンダーを有効に使ったり、不適切な言葉や態度で接したりしないなど工夫の方法や基本的な事項



講演する加藤先生



参加者動かすながらテレビを見ながら

について確認しました。この後、2つのグループに分かれて話し合いを行い、介護の悩みなどを出し合っており、認知症についての理解を深めました。